



皆さんは、元に戻したいものはありますか？たとえば、壊れてしまった大事なコップや、こじれてしまった人間関係…。私は、取り返しのつかなくなってしまうこの体型が元に戻ったらいいなと思っています。

ところで、皆さんは、日本のゴミの焼却率が約80%と、世界でもとても高いことを知っていますか？でも、これには理由もあって、もともと日本は土地が少なく、埋めるゴミを減らすためには、燃やして体積を減らす必要があったので、焼却場が多いこと(世界のゴミ焼却場の約70%が日本)が背景にあるのです。

日本の焼却技術は世界からも注目されるものですが、それでも有害物質の発生や最終処分場の確保など問題が残るので、燃やして捨てるゴミそのものを減らすことが必要ですよね。

そこで、今回の授業では、皆さんにもう一度『リサイクル商品』について、知ってもらいたいのです。

『リサイクル商品』とは、不要物(ゴミ)となってしまった物を、もう一度資源に戻し、新しく製品に生まれ変わったものをいいます。その中でも、「生産」から「廃棄」にわたり環境への負担が少ないと認められたものには、『エコマーク』(右図)が付いたりするのです。



つまり、リサイクル商品を購入することは、天然資源の消費を抑えながら、燃やして捨てるゴミを減らし、環境への負荷を少しでも軽減できる身近な選択なのです。

買い物をする際、リサイクル商品を選んでみましょう。また、ゴミの分別を心がけ、リサイクルできるものは、資源ゴミに出しましょう。そして、私たちの住んでいる地球へ、**ちよっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月の授業は、「食品ロス削減」です。食品ロス削減とはどういうもので、環境にどのように影響するのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

※ゴミを減らす行動として、①リサイクル(再生利用)の他にも、②リユース(繰り返し使う)、③リデュース(ゴミ自体を減らす)があり、3つの頭文字から、3R活動と言われています。
※板野町の2017年度のリサイクル率は、19.32%でした。

板野町の取り組み

9月2日(日)、あさんウォーキングフェスタ in いたの～環境と健康を考える～では、記念すべき第10回目ということもあり、記念品として残してもらいたいという想いから、広島平和記念公園の折り鶴を再生利用した紙で『恩返紙記念ナンバーカード』を作成し、参加者(10kmコース)にお渡ししました。

また、消費生活相談所と板野高校の共催で、牛乳パックを再利用した環境工作、エシカル商品(藍染め製品)やパネル展示の他、アンケート調査などを行いました。



ある日の先生

現場を高畑先生に任せて休んでいたら、取り返しのつかない体型に…。

かっ…神様！
私のこれ(肉)は
燃やして…
体積を……
減らし……て…



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。